

札幌市新型コロナウイルス
感染症対策専門家会議

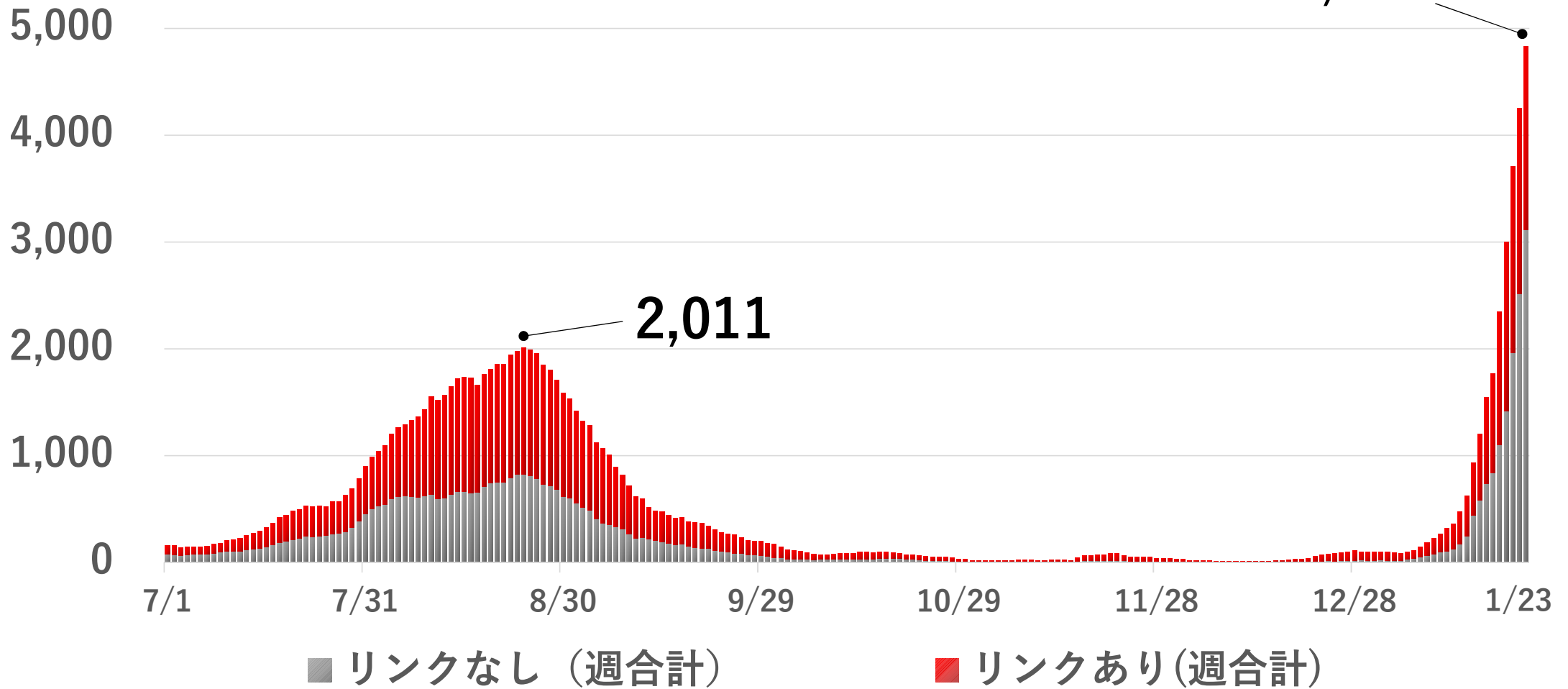
資料 3

札幌市の感染状況について

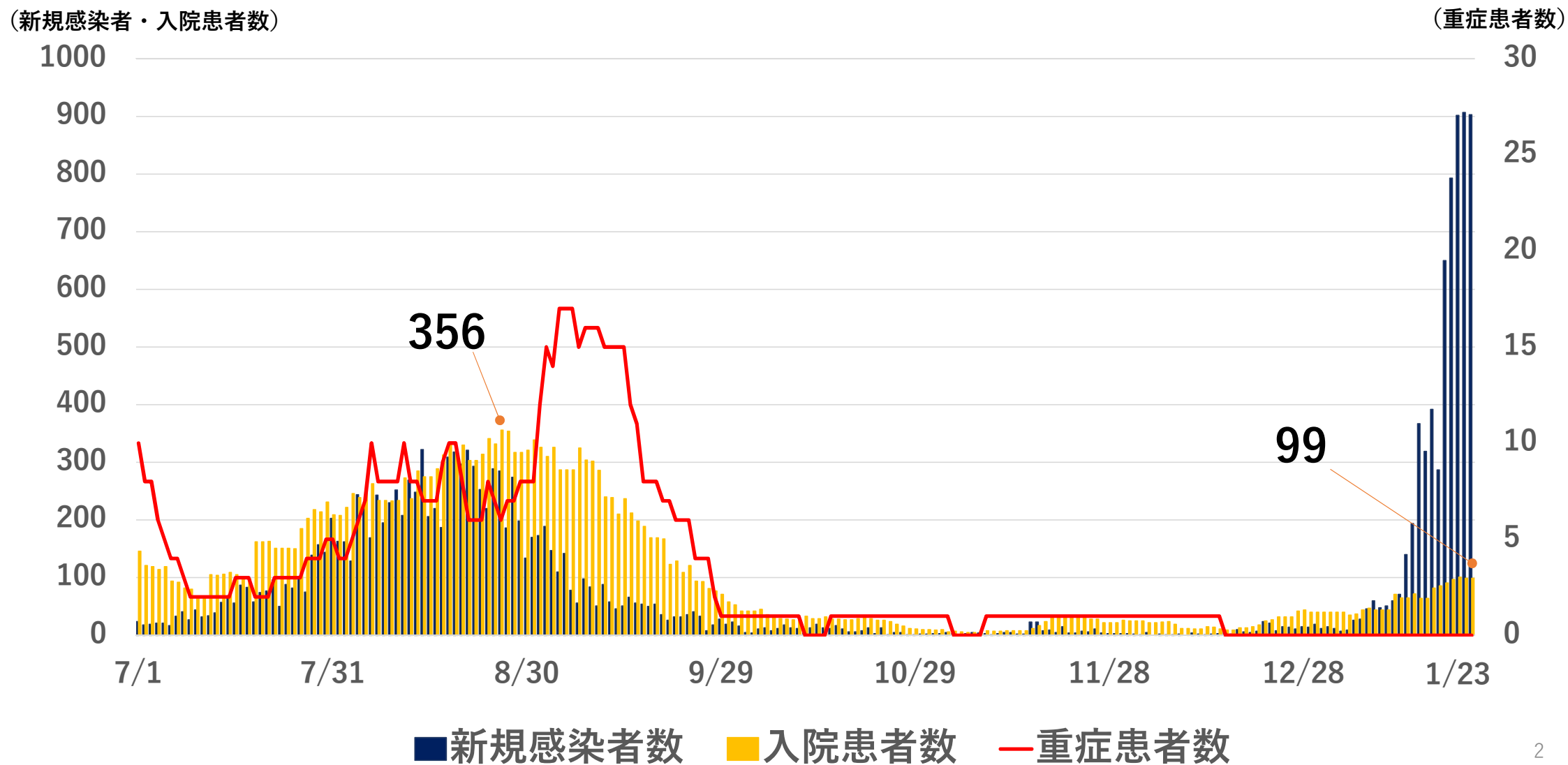
令和 4 年1月24日
札幌市保健所

市内新規感染者数の推移

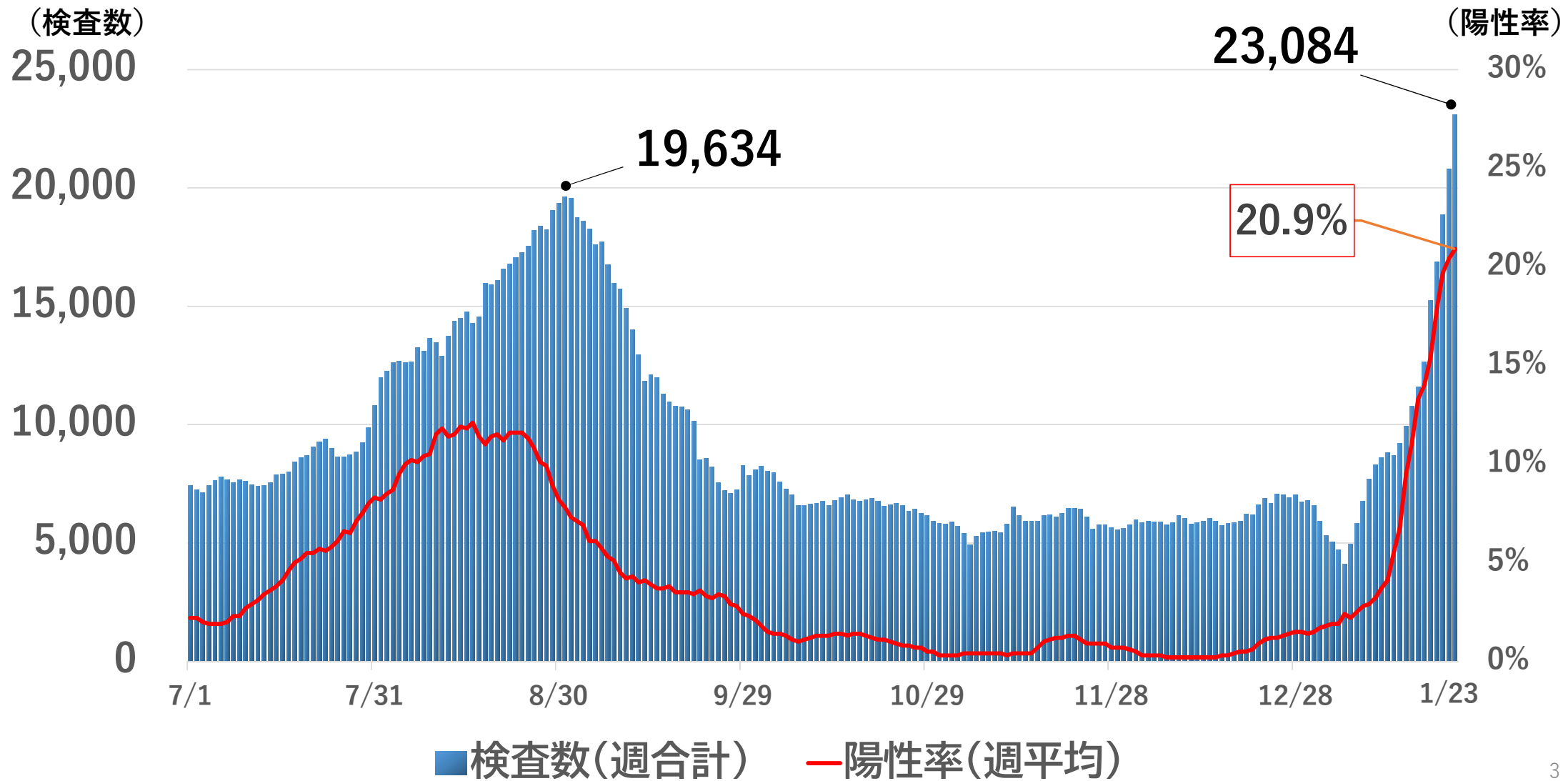
(人)



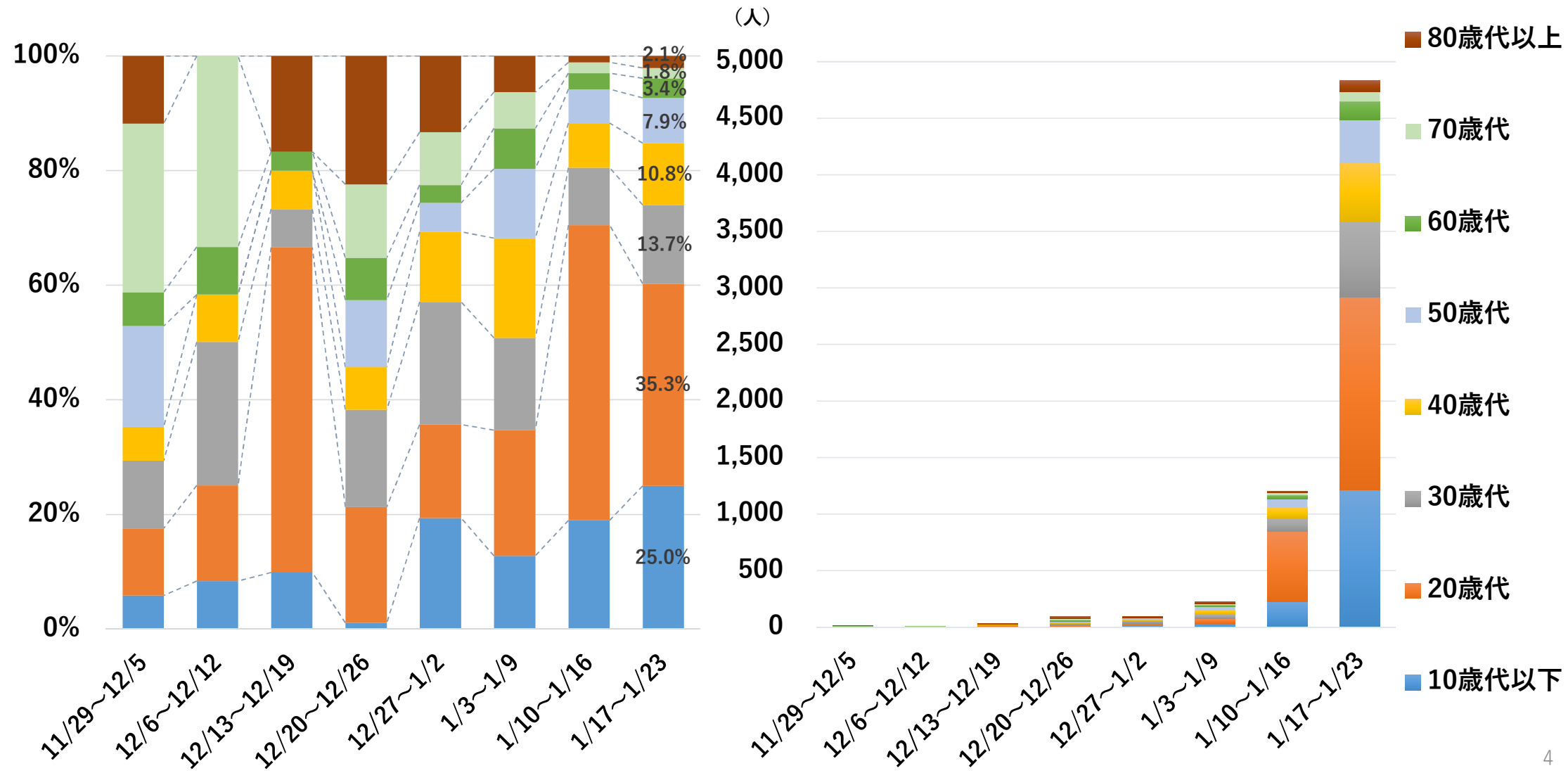
札幌市民の感染者数・入院患者数・重症患者数の推移



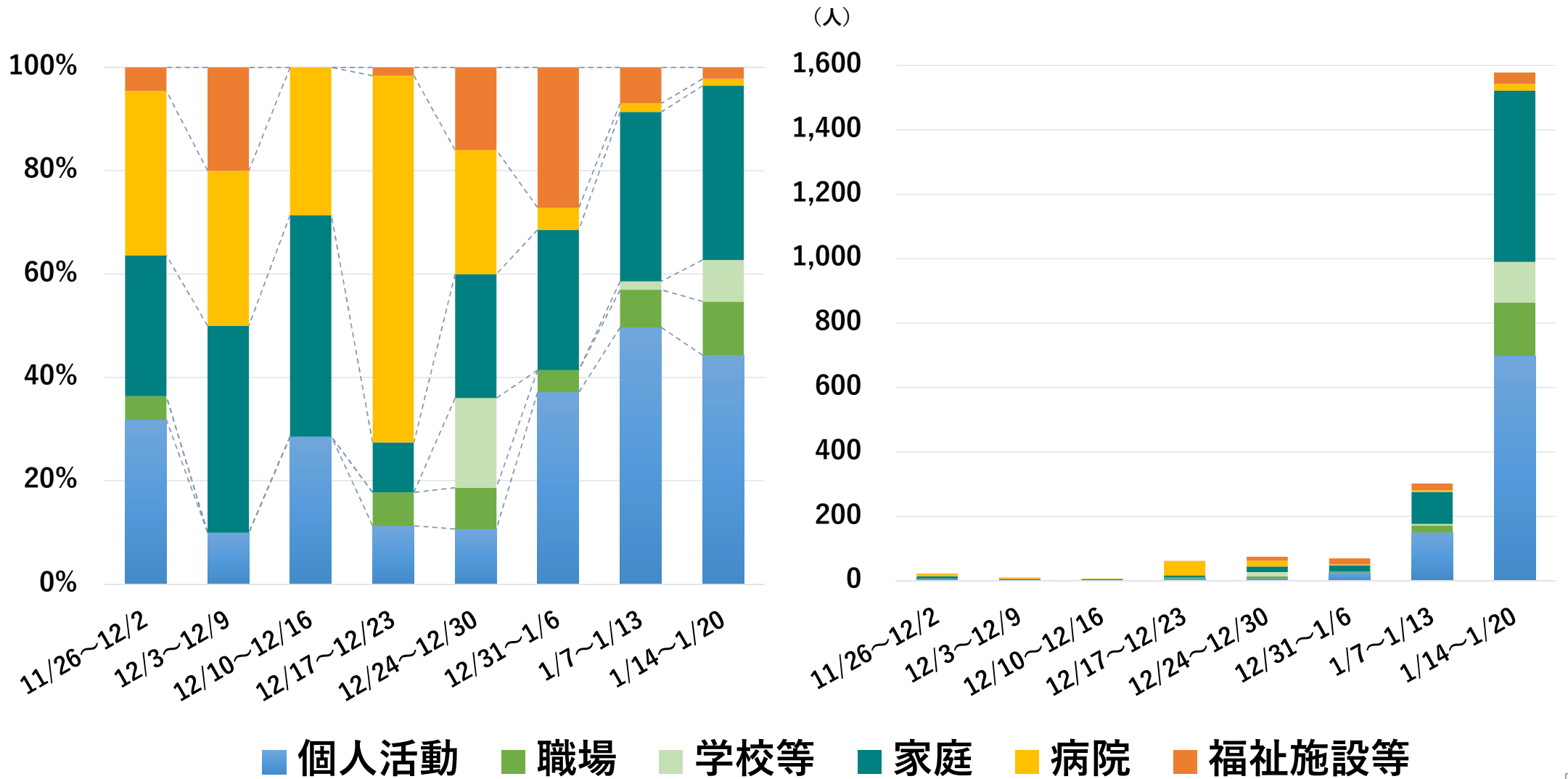
市内検査数と陽性率の推移



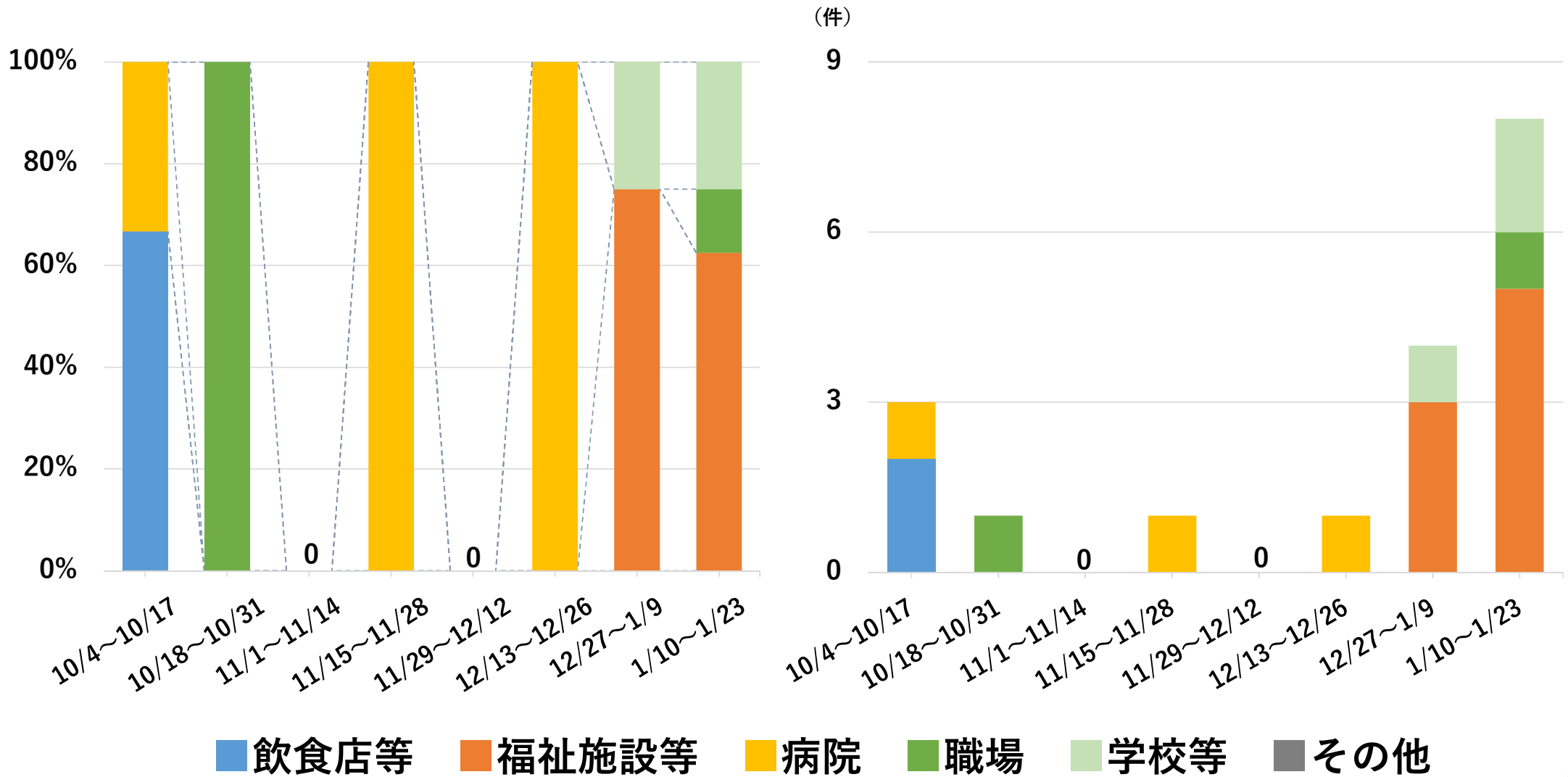
市内年齢別感染者数の割合



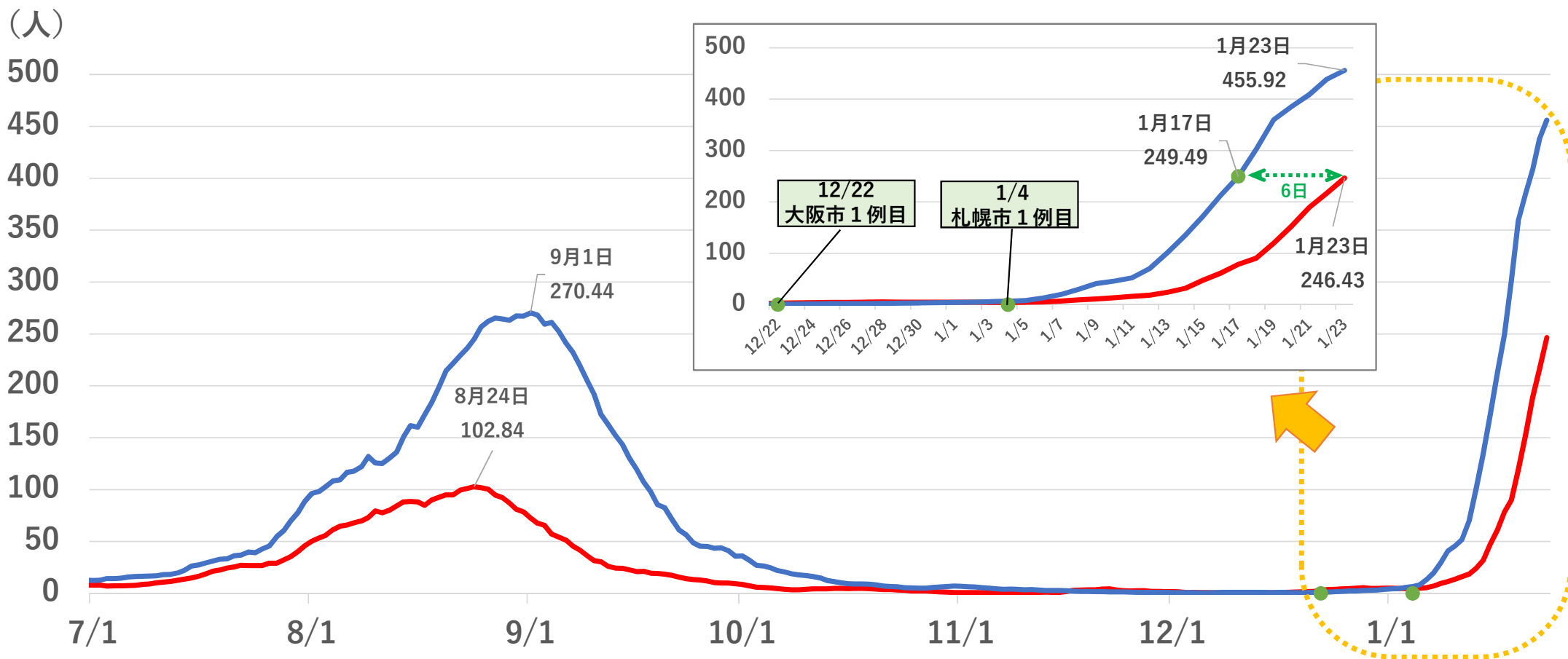
市内新規感染者（リンクあり）の感染経路



市内集団感染事例



10万人当たりの新規感染者数(週合計)の比較



— 札幌市

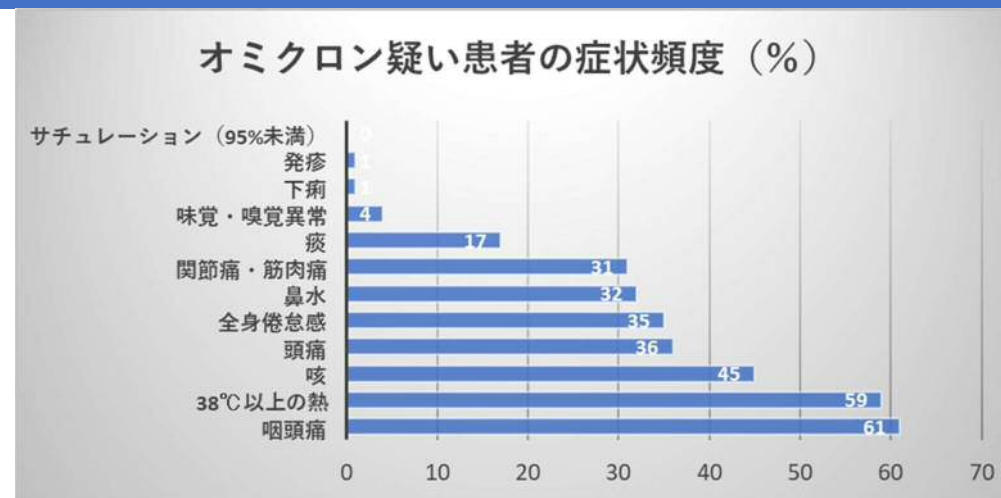
— 大阪市

※大阪市の数値は、HP等から集計して作成したもの
(遡及修正の可能性があるので、参考値)

不定期コロナ通信①

**オミクロンではこれまでよりも咽頭痛症状が多く
味覚・嗅覚異常はとて少なくなっています**

インフルエンザの様な発熱・関節痛を伴う方が多く、サチュレーションモニタで低い値となる方は
少なくなっています



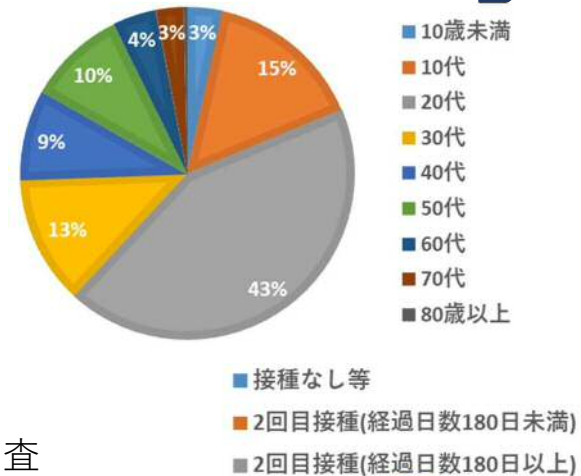
- 初期に札幌市でオミクロン疑いとなった100例を調査
- 男性53%、女性47%
- 平均年齢34.9歳 (3歳～87歳)
- ワクチン未接種者45%
- 3人に2人で38°Cの熱、咽頭痛、2人に1人で咳、3人に1人でインフルの様な関節痛・筋肉痛
- 味覚・嗅覚異常や下痢の頻度はとて少なくなっています

不定期コロナ通信②

オミクロン疑い患者では酸素投与が必要な中等症以上は
出ていません

(1月18日時点)

ワクチン 接種状況	無症状・ 軽症	中等症	重症	総計
接種なし等	116	0	0	116
2回目接種 (180日未満)	117	0	0	117
2回目接種 (180日以上)	29	0	0	29
総計	262	0	0	262



- 札幌市でオミクロン疑い（L452R陰性）となった262例を調査
- 20代が43%と最も多く10代から30代で約70%となっています
- ワクチン未接種者が44%、接種者が55%で、札幌市の全体のワクチン接種率（約80%）を考えるとワクチン接種者で陽性者が少ない傾向となっています
- ワクチン接種から時間が経っている人が多く感染しているとはなっていません